

ボランティア活動を通して地域に密着した学校づくりをめざす 敦賀市立栗野小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	3回
地域及び家庭への学校公開	2回 (のべ) 2日

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	10人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	10人
登下校支援ボランティア	66人
その他 (図書ボランティア)	27人

(3) 特色ある活動

テーマ 「心の教育の充実」

具体的活動内容

本校では、図書ボランティアによる読書活動推進のための取り組みが活発である。ボランティアは、地域の方、保護者OB、保護者など計27名が登録し、以下の活動に取り組んでいる。

1 「朝読み」

日課の中に8:00~8:15を「朝読書」の時間に設定しているが、火曜日は「朝読みの日」として、教員・ボランティアによる読み聞かせを実施している。

ボランティアは約10名が朝読み班をつくり、低学年・高学年別に隔週ですべてのクラスの読み聞かせを担当している。



2 「昼読み」

毎週水曜日の昼休みには、ボランティアによる「お昼のお話し会」を実施している。音楽室などを利用し、自由参加であるが低学年を中心にたくさんの児童が集まり、水曜日を楽しみにしている子も多い。

3 環境整備、その他

季節に合わせて、図書館の掲示物の作成・掲示にもボランティアの皆さんが関わっている。また、「6年生を送る会」での職員劇への全面的な協力、土曜日や長期休業中の「折り紙スクール」の開催など幅広く活動している。

成果と課題

本校の図書館は、バーコードでの貸し出しシステムも完備しており、図書の貸出冊数はどの学年も大変多い。ボランティアによる様々な取り組みが功を奏していると考えられ、読書による心豊かな児童の育成に繋がっている。

年度初め、終わりには「図書ボランティア会議」を行い、学校とボランティアとの意思疎通を図っている。窓口は教頭・図書主任・図書支援員であるが、ボランティアの人数も多く活動も多岐にわたっているため、さらに連絡調整に気を配り、地域に密着した学校づくりに取り組んでいきたい。